

## 異文化プレゼンテーションスキル研修

Intercultural Communication Skills:  
Oral Presentation

## グローバルな環境で、相手のコンテキストに合わせた「結・承・結」のプレゼンテーションスキルを学びます

- 研修日数：2日間
- 担当講師：バイリンガル講師2名
- 適正クラス規模：～12名
- 受講対象：欧米のスタイルで相手に英語でプレゼンテーションする機会のある方

※英語でのアウトプットが中心となるため、対象者は日常的に英語に接する機会のある方、または、TOEIC500点程度以上を想定しています。

### ■ 特徴

- ・**端的に説得する構成**：外国人に対して、相手のコンテキストに合わせた、端的で、説得力ある「結・承・結」のプレゼンテーションを行うためのスキルを体得します。
- ・**個別指導による改善**：フィードバック：外国人講師によるフィードバックやビデオ撮影を通して、自分のプレゼンテーションスタイルを客観視。グローバルなプレゼンテーションに欠かせないフィジカルスキル（ジェスチャー、アイコンタクトなど）のスタイル矯正を行います。
- ・**活発なQ&Aの対応スキル**：プレゼンテーションの鍵を握るQ&Aで、活発になる質疑応答の流れを統制し、スムーズに進行する具体的な心構えやスキルを学びます。

#### 受講前の状態

- ・背景を丁寧に説明しているつもりだが、相手の興味を惹きつけ続けるのが難しい
- ・そもそも日本語でもプレゼンテーションの機会に乏しく、どこから手を付けたら良いのか分からない
- ・早口の英語でまくし立てられるQ&Aセッションに、苦手意識がある

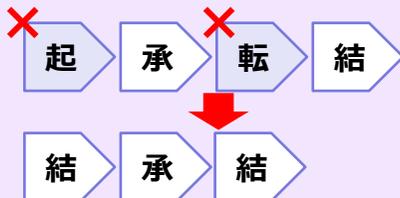
#### 受講後の状態

- ・伝えたいことを簡潔に伝えることで、分かりやすいプレゼンテーションが行える
- ・プレゼンテーションの基本的な構成を理解しており、独力でもストーリーを描ける
- ・相手の質問を確認しながら、自信を持って丁寧に回答できる

### ■ 学習ポイント (例)

#### 結・承・結

コンテキスト（あらかじめ共有された情報）の違いのある相手には、誤解を与えないようなコミュニケーションの構造「結・承・結」が求められる。  
プレゼンテーションの際は、はじめにメインポイントを簡潔に説明することが求められる。



#### Q&Aセッション

多文化の聴衆に向けたプレゼンテーションでは質疑応答が必須となる。良いQ&Aセッションはプレゼンテーションの全体的効果を高める。よりローコンテキストに相手の意図を確認し、英語での質問の裁き方や効果的な答え方のコツを学ぶ。

##### PACEテクニック

- Paraphrase:** あなたの言葉を使って言い換える
- Answer:** 質問者と聴衆にアイコンタクトを取りながら答える
- Confirm:** 質問者が自分の回答に満足しているか確認する
- Elicit:** できるだけ多くの人から質問を引き出す

#### パロットライク・フレーズ（決まり文句）

プレゼンテーションの各シーンにおける特有の表現を「パロットライク・フレーズ（決まり文句）」として覚え、自然に使えるようにする。ローコンテキストで結論から話す術や、Q&Aセッションを円滑に進める一言を身につける。

##### パロットライク・フレーズ（一例）

- 冒頭:** Today, I'd like to tell you about ...
- 流れの提示:** Let's move on to my first point.
- 結論:** As we have seen, ...
- 質問への回答:** That's a good question.



## ■ 研修のアプローチ

### 異文化マップを使った外国人の「プレゼンテーションに関する常識」の理解

異文化マップを活用することで、文化によって異なるプレゼンテーションスタイルの違いへの理解を深めます。主旨を端的に、そして誤解なく伝えるスキルや、活発な質疑応答セッションをスムーズに進める心構えを学び、より説得力や納得感の高いプレゼンテーションの実現方法を体得します。

### 外国人講師による徹底した個人指導

バイリンガル講師が、個々のプレゼンテーションに対して徹底した個人指導を行い、スライド作成のサポートも行います。また、研修終了後には各人用のフィードバックシートを作成。他の参加者からの客観的なコメントと合わせてプレゼンの録画映像と共に本人に返却し、改善を重ねることで、確実なスキルアップに繋がります。

### 実務に即した題材のプレゼンテーション

参加者自身の業務に関係するものをテーマとして扱い、研修の中で内容をブラッシュアップ。研修の終了後には、参加者が自信を持って英語でプレゼンテーションできる、業務に関連したプレゼンテーションコンテンツができ上がります。



## ■ プログラムの流れ（概要）

事前課題		1日目				課題	2日目			
		9:00			17:30		9:00			17:30
流れ	プレゼンテーション作成	① プレゼンテーション実施	② 主旨と導入のまとめ方	③ 本体と結論のまとめ方	④ スライドの使い方	⑤ 2日目に向けた課題	⑤ 前日の振り返り	⑥ 個別指導	⑦ プレゼンにおける振る舞い方	⑧ 最終プレゼンテーション実施
手法	個人ワーク	ロールプレイ	レクチャー	レクチャー	レクチャー	改善点確認／2回目の課題に向けたプレゼンテーション準備	レクチャー	ワークショップ	レクチャー／演習	ロールプレイ
内容	・プレゼンテーション用のスライドを英語で作成	・何も教わっていない状態で準備したスライドを元に、英語で発表	・メッセージとなるメインポイントの構成、伝え方	・本体パートの作り方	・明快かつ簡潔で効果的なスライドの作り方	・自分のプレゼンテーション映像、講師からのフィードバック	・前日の振り返り	・前日のレクチャー内容と自分の改善点を踏まえ、講師からのフィードバック	・フィジカルスキルや質疑応答のテクニックにおけるポイント	・研修の集大成として、再度、プレゼンテーションを実施

【詳細はお問い合わせください】